

# 協立病院だより

NO. 163 2019年1月1日

発行:京都協立病院広報委員会

えっ? こんなことが...  
米軍基地は必要ですか?

昨年11月4日、京丹後市で開催された「米軍基地はいらんちや! フェスタ in 丹後2018」。当院からも職員、友の会会員さんらが参加。京都市内や他府県からの参加もあり全体で700名の集会となりました。2014年12月に基地の本格稼働が始まってから今年で5回目の開催です。

米軍基地建設を憂う会・事務局長の永井さんが現地の様子を報告。2月に自衛隊が米軍基地警護訓練を雪の降るなか行なったこと、4月10日頃に始まった二期工事で休日に工事は行わない約束を反故にして強行していること、基地の境界をはみ出し掘削を行っていること、米軍による交通事故が4年間で60件も発生しているのに、米軍はほとんどの事故で事実を公表せず、被害にあわれた方は泣き寝入り状態となっていること、5月には豊岡病院のドクターヘリが救急要請を受けた際、米軍のレーザー停波拒否で飛行が遅れ人命にかかわる問題となつたことなどが報告されました。



集会後半は、川口真由美さんのトーク&ライブ。地元のみなさんも舞台上に立ち会場も大盛り上がり。集会後は、会場から市庁舎まで「Xバンドレーダ基地反対」を訴えてピースウォークを行いました。

この間、アメリカと北朝鮮が話し合いの場に着き、韓国と北朝鮮の融和など平和への道が開かれつつあります。そんな新しい局面のもと、米軍基地(Xバンドレーザ基地)が本当に必要なのか?。今一度問い直す時が来ているのではないのでしょうか。

米軍基地反対丹後連絡会では、「基地問題報告DVD」を販売しています。学習会などでご利用いただければと思います。お問合せ先・丹後労連(0772-62-0169 (Faxも同))



院長 玉木 千里

謹んで新年の

お慶びを申し上げます。

昨年は大変自然災害の多い年でした。6月の大阪府北部地震、7月の西日本豪雨災害、9月の北海道胆振東部地震。相次ぐ台風被害…。被害を受けられたみなさまには、謹んでお見舞い申し上げます。

世の中の動きを見ますと、2019年度の軍事費予算は過去最高の5兆3千億円を計上する見通しで、大企業優遇政策により大規模な法人税減税は据え置かれる中、内部留保は過去最高となっております。

## 憲法改悪NO! 全国市民アクション 憲法改悪反対 3000万署名に取り組んでいます

今、憲法9条を変えよう、新たな文言を付け足して戦争できる国にしようという動きがあります。若い命が戦争で殺し殺される時代はイヤですね。子ども達には平和な未来を引き継ぎたいですね。当院でも「その願いを署名に託そう」と職員だけでなく外来患者さんなどにお願ひしています。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

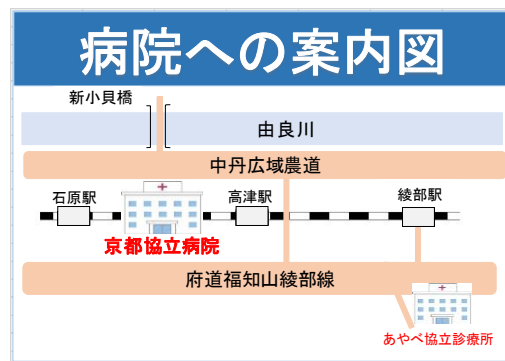


一方で社会保障費はどんどん抑制され、国保の保険料や介護保険料、高齢者の窓口負担は増加の一途をたどり、生活保護費は切り下げられています。これでは、格差社会を是正するどころか、ますます拡大する一方です。国は消費税増税による増収分を社会保障費に回すと言っていますが、本当にそうなるか注意深く監視していく必要があります。

昨年の臨時国会で、自民党憲法改正案の憲法審査会への提示は見送られました。安倍首相は「2020年の新憲法施行をめざす考えは変わらない」とし、自民党は「通常国会で憲法改正案を提示する」と明言しています。今年は統一地方選挙と参議院選挙が行われます。立憲主義を破壊し、民意を無視する政治にストップをかけていきましょう。

本年も「子供からお年寄りまでかかりやすく何でも相談できる病院」の看板を掲げ、地域の医療機関・介護事業所のみならずと手を携えて住民の方々がこの地域で長く幸せに暮らせる「地域包括ケア」を支えていきたいと考えています。特に回復期リハビリ病棟では、1年365日

☎(代表)42-0440 (小児科直通)42-0025



公益社団法人 京都保健会  
京都協立病院  
〒623-0045  
京都府綾部市高津町三反田1番地  
TEL 0773-42-0440  
FAX 0773-42-9459  
ホームページ  
http://www.kyoto-kyoritsu.org/

ISO 9001 BUREAU VERITAS Certification MS JAB

待ち時間の短縮にご活用下さい。

診療順番表示(内科・外科)がホームページからご覧いただけます。

携帯・スマートフォンからは下記URLで検索してください。  
http://www.kyoto-kyoritsu.org/webcamera/webcamimg.php

■JR高津駅より徒歩10分 ■駐車場150台

ISO 9001 認証取得





# 第14回 北部地域学術運動交流集会

京都北部の民医連事業所での実践を、職種を超えて発表・交流する北部地域学術運動交流集会。2年に1回開催されています。今年も、「看る・予防・連携・食」など様々なテーマでエントリは18演題。

その中から、当院の外來スタッフが取り組んだ「高齢者の自動車運転実態調査・交通整備が不十分な地域での患者が安全に通院できるための支援を探る」をご紹介します。

\*\*\*

外來看護部では、当院の外來に通院されている患者様が、自動車運転への不安を感じた時、看護師としてどのような支援が出来るのか悩む場面がありました。そこで今回、当院へ定期的に通院されている65歳以上の患者様を対象に、同意が得られた241名の方に自動車運転に対するアンケート調査を実施しました。

「現在も車を運転している」は50%、「運転免許証を返納した」は13%でした。現在も車を運転されている方の年齢は、65〜79歳が83%と最も多



く、80歳以上の方も17%、19名おられました。運転免許自主返納については、86%の方が「考えたことがない」と返答されました。

では、どうなれば運転免許の返納をしようと思うかの問いには、「自分の運転に自信が無くなったら」と回答された方が一番多く、次いで「高齢者講習で問題があれば」「一定の年齢になれば」「周りから中止を言われたら」でした。また、「交通整備や送迎者の確保など代替事業が充実されたら」という回答もありました。

運転に変わる代替事業の認知度は、綾部福祉ボランティアや、健康友の会のバスは比較的高い結果でしたが、代替事業を「何も知らない」という方も28名おられました。

昨今、高齢運転者による交通事故は社会問題となっています。この地域で車は日常生活に不可欠な移動手段ですが、運転の目的の多くが病院への通院である事を考えると、看護師は患者様に安全に通院してもらうための「手段」に意識を向ける必要があると考えています。

当院では、かねてより患者様の要望でもあった、安全な通院手段の確保として、病院敷地内へのあやバスの乗り入れを行政に働きかけてきました。そして、2018年4月から路線を変更し、当院の玄関前にバス停が設置されることとなりました。今後も患者様の声を行政に届けることや、自動車運転に不安を感じる患者様には、代替事業について情報提供を行うこと、運転免許自主返納の啓発活動に取り組んでいきたいと考えています。

ご自身やご家族様で認知機能の低下や、運動能力の衰えを認め、自動車運転に不安を抱かれている場合など、当院への通院でお困りのことがあれば、

## ほっこりカフェ

一昨年からオープンした「ほっこりカフェ」。認知症の方やご家族にご来店いただき、ホッと憩える場所に：と2ヶ月に一度のペースで開店しています。昨年は、季節に合わせているような趣向を凝らしていただきました。

7月。いつもご来店いただく方に民謡の名人さんがおられたことから、ミニ盆踊り大会を開催。「福知山音頭」の歌詞を教わり、自慢の声も披露いただきました。少し照れながら「ドッコイセ。ドッコイセ」とみんなで輪になっ



9月。秋はやっばり運動会。種目は玉入れと物送りリレーで男女紅白対抗戦。お配りした鉢巻きは、首からリボン結びでたらしたり、キリッと頭に締めたり。みなさんの個性がキラリ。

11月。いい夫婦の日(11月22日)ということで、日頃は口に出せない「ありがとう」の気持ちをスタッフ手作りの花束と一緒にプレゼント。「♪あなたと呼べば、おまえとこたえる♪」の掛け合いも嬉し恥ずかし。

今年も笑顔いっぱいのカフェでお待ちしておりますので、お一人でもご夫婦でもご近所さん同士でも、お気軽にご来店ください。お問い合わせは、外來看護師まで。(ほっこりカフェPJチーム会)

## ホスピタルアートの挑戦しています

テレビで「ホスピタルアート」の番組を見て、とても素敵なお取り組みでしたので、当院のリハビリ室も「まねごと」ですが「アート」的に飾り付けをしています。

季節ごとにスタッフでいろんな形を手作りして貼り付けると、無表情だった壁が一気ににぎやかになって、患者さんだけでなくスタッフも癒される空間に大変身です。

ぜひ、一度のぞいてみてください。(リハビリテーション課)



栄養課で保管している備蓄米の賞味期限が切れるということで、職員に試食をお願いしました。今回は「白いご飯」。それならカレーを作って材料費の一部を職員が負担して、北海道胆振東部地震で被災されたみなさんに義援金として送ろう！と調理師スタッフがひと肌脱いでくれました。



## 備蓄米の試食で 北海道地震支援

カレーといえども非常食として活用できる「鯖缶」を使っの「鯖カレー」。大鍋で大量に煮込んだカレーの味は、家庭では出せない美味しさです。「けっこうご飯の量あるわ〜」「鯖カレーってどこかの名物?」「臭みもなくいい味やね」と賑やかなランチタイムになりました。寄せられた義援金は26,856円。被災されたみなさんに穏やかな生活が早く戻るよう願って送金



して頂きました。(栄養課)

恒例の綾部平和健康まつり。地域のみなさんなど約600名が参加。焼きそば、から揚げ、うどんなど美味しい出店もたくさん。子どもさん対象の木工細工、バルーン、笛作りは長蛇の列、毎年好評の健康コーナーは大盛況。一番人気は：やっばり骨密度でした。午後ほうたごえサークルの発表の後、まいづる法律事務所の吉本春樹弁護士を招いて「平和といち守る9条・改憲されたらどうなる?」と題して講演いただきました。(外來看護部)

